



木曽圏域の感染警戒レベルを3に引き上げます

1 感染の状況等

木曽圏域における直近1週間(10月19日~25日)の新規陽性者数は81人(人口10万人当たり317.94人)となっており、前週(10月12日~18日)と比較して1.6倍と増加しています。

この状況は、県独自の感染警戒レベルにおいて、圏域のレベルを3に引き上げる目安となる基準(50人以上)に該当しており、感染拡大に警戒が必要な状態であると認められます。

このため、木曽圏域の感染警戒レベルを2から3に引き上げます。

【県内の感染警戒レベル等の状況】

レベル	圏域【直近1週間の新規陽性者数(人口10万人当たり)】
4*	佐久【628人(307.21人)】、上田【708人(365.14人)】、 諏訪【718人(370.41人)】、上伊那【395人(219.57人)】、 南信州【571人(367.56人)】、松本【1,826人(430.99人)】、 北アルプス【168人(298.76人)】、長野【1,205人(226.20人)】、 北信【171人(207.16人)】
3	<u>木曽【81人(317.94人)】</u>

※ 「医療警報」発出中のため、圏域の感染警戒レベルの上限は4

2 県民・事業者の皆様へのお願い

全県に「医療警報」を発出中です。県民及び事業者の皆様におかれましては、社会経済活動と感染拡大防止を最大限両立させるため、別紙「新型コロナ第7波の感染再拡大を踏まえた県民の皆様へのお願い」に沿った対応をお願いします。

信州版「新たな日常のすゝめ」

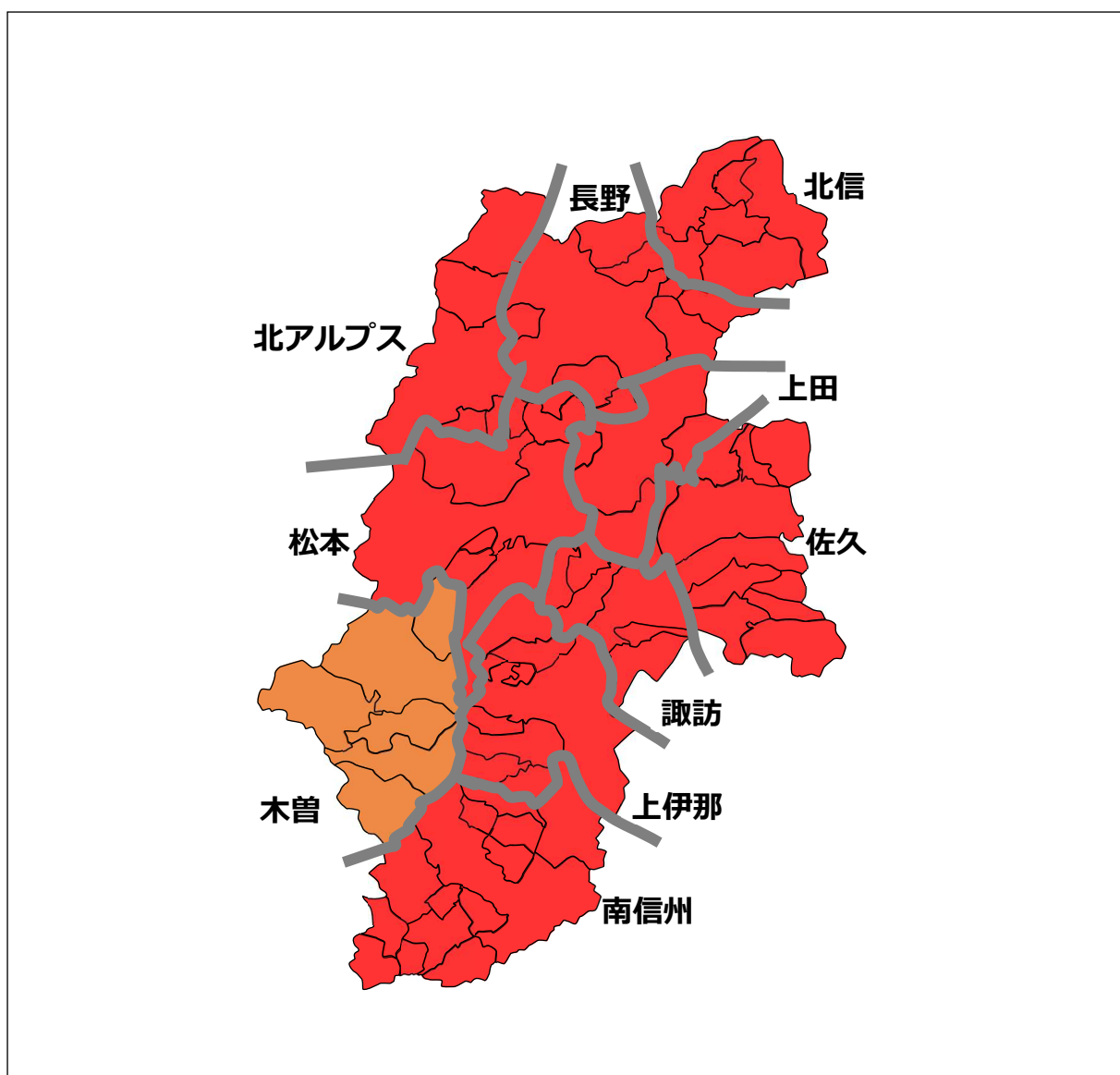


新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

長野県 危機管理部
 消防課 新型コロナウイルス感染症対策室
 (室長) 高野 雅彦 (担当) 北澤 浩
 電話 026-232-0111 (内線 4705)
 FAX 026-233-4332

県内の感染警戒レベル (R4. 10. 26 現在)

感染警戒レベル4の圏域	9 圏域	佐久圏域、上田圏域、諏訪圏域、 上伊那圏域、南信州圏域、 北アルプス圏域、松本圏域、 長野圏域、北信圏域
感染警戒レベル3の圏域	1 圏域	<u>木曽圏域</u>



新型コロナ第7波の感染再拡大を踏まえた県民の皆様へのお願い (医療警報発出中)

令和4年10月20日 長野県知事 阿部 守一

この冬は、第7波を上回る感染拡大や、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されていることから、感染者数や入院者数をできる限り抑制していかなければなりません。社会経済活動と感染拡大防止を最大限両立させるためにも、全ての県民（滞在者を含む。）、事業者の皆様は、次のことについてご協力をお願いします。

なお、県としては医療関係者や市町村等のご協力のもと、医療検査体制の整備やワクチン接種の推進など、命と健康を守るための取組を一層強化してまいります。

1 「感染しない。感染させない。」ことを心がけてください

(1) 重症化リスクが高い方等は十分注意

- 入院患者のほとんどがご高齢の方であることから、重症化リスクが高い方（65歳以上の高齢者、基礎疾患がある方、妊婦など。）及びその同居者・身近で接する方は、マスクを外しての会話や換気が不十分な場所等、感染リスクの高い場面・場所では十分注意してください。

(2) 基本的な感染防止対策の徹底

- 屋内と屋外であっても近距離（2m以内程度）で人と会話するときは、不織布マスクを着用してください。
- 手洗い・手指消毒の徹底、換気の徹底、三密の回避は継続してお願いします。特に、今後、寒さが本格化していきますが、職場や店舗、公共施設等の屋内や自家用車内などでは、機械換気による常時換気や室温が下がらない範囲での常時窓開けによる換気を実施してください。

(3) 体調に異変を感じた場合等の対応

- 重症化リスクが高い方（65歳以上の高齢者、基礎疾患がある方など）、子どもや妊娠している方は、診療・検査医療機関等^{*}へ相談の上、速やかに受診してください。

^{*} かかりつけ医等身近な医療機関や診療・検査医療機関

- 重症化リスクが低く、軽症の方は、できるだけ検査キット（薬事承認された抗原定性検査キット）による自己検査をお願いします。なお、自己検査で陽性になった中学生～64歳の方は、医療機関を受診せずに自宅療養^{*}していただくことができますので、医療機関の負担軽減のためにも軽症者登録センターのオンライン登録を積極的に利用してください。

^{*} 療養期間終了後も2～3日間は感染リスクが残存することから、高齢者等ハイリスク者との接触やハイリスク施設への不要不急の訪問を避ける、マスクの着用など自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。



診療・検査
医療機関



軽症者登録
センター



自宅療養の
ご案内とお願い

- 発熱等の体調不良時に備え、あらかじめ、薬局等で新型コロナの検査キットや解熱鎮痛薬等を購入し、自己検査やセルフケアに備えていただくようお願いします。
- 発熱等の症状がある場合は、体調悪化を防ぎ感染拡大を防ぐためにも、出勤、外出等の人との接触（受診を除く。）は控えてください。また、新型コロナは、無症状でも他者に感染させてしまうリスクがあるため、体調の異変がいったんおさまった場合でも、混雑した場所への外出やマスクなしでの会話など、リスクの高い行動は控えてください。

(4) ワクチン接種の検討

① 新型コロナウイルスワクチン

- 2回目以上の接種が済んでいる12歳以上のすべての方を対象とした、オミクロン株対応のワクチン接種が始まっています。接種間隔についても5ヵ月から3ヵ月に短縮されます。オミクロン株に対して今までのワクチンを上回る効果がありますので、「新しい年を安心して迎える」ために、速やかな接種をご検討ください。



ワクチン
県接種会場

② 季節性インフルエンザワクチン

- 季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されていますので、季節性インフルエンザワクチンの定期接種の対象の方*は、ご自身の重症化を予防するために、市町村からのご案内をご確認の上、希望される方は、早目の接種をお願いします。

※ 65歳以上の方、60～65歳未満の心臓・腎臓・呼吸器に疾患をお持ちの方等。定期接種についてご不明な点は、お住いの市町村にお問い合わせください。

- 定期接種の対象外の方は、医療現場の負担軽減のためにも、この機会に接種の検討をお願いします。

[季節性インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンは、接種間隔を開けずに接種できます。]

2 状況に応じた「メリハリのある行動」を心がけてください

(1) マスク着用

場面に応じて適切に着用してください。屋外で近距離での会話をしない時は必ずしも着用していただく必要はありません。

(2) 会食

「新たな会食のすゝめ」を確認してください。「信州の安心なお店」等感染対策をとっているお店を選び、マスク会食や黙食を徹底し、大声での会話や長時間の利用を控えるなど、対策を講じながらお楽しみください。



会食のすゝめ

(3) 旅行

「新たな旅のすゝめ」を確認してください。感染リスクが高い行動はできるだけ控え、訪問先の都道府県等からの呼びかけに注意して行動してください。また、ワクチン接種や検査の活用により、安心なご旅行をお楽しみください。



旅のすゝめ

全県に医療警報を発出します

- 新規陽性者数が再び増加しています。
- 入院を必要とする方が増加し、確保病床使用率が25%以上となっています。
- 今年の冬は、第7波を上回る新型コロナウイルスの感染拡大や季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されます。

1 重症化リスクが高い方※等は十分に注意してください。

※65歳以上の高齢者、基礎疾患がある方、妊婦など

2 寒さが本格化していきませんが、機械換気による常時換気や、室温が下がらない範囲での常時窓開けによる換気をしてください。

3 症状がある場合(発熱やせき、のどの違和感や鼻水、だるさ、味覚・嗅覚の異常など)は、出勤、外出等の人との接触(受診を除く。)を控えてください。

4 発熱等の体調不良時に備え、あらかじめ、薬局等で検査キットや解熱鎮痛剤等を購入していただくようお願いします。

5 重症化リスクが低く軽症の方は、できるだけ自己検査をお願いします。陽性となった場合は、軽症者登録センターのオンライン登録を積極的に利用してください。

6 オミクロン株対応のワクチンは、オミクロン株に対して今までのワクチンを上回る効果がありますので、速やかな接種をご検討ください。

新型コロナウイルス感染症に関わる差別や誹謗中傷は絶対にやめてください。県民お一人おひとりが「思いやり」の心を持ち「支え合い」の輪を広げ、協力してこの危機を乗り越えていきましょう。